GIMP で縦書き

前回は GIMP の画面に横書文字の書き方を勉強しましたが、今回は「縦書き文字」の書き方を説明します。年賀状とか暑中見舞いなどには、縦書の文字を使う場合が多いので、そのような場合にこの「縦書きソフト」を使うと大変便利です。

1. GIMP を起動する

GIMP の入っているフォルダを開き、起動アイコンの GIMP Portable.exe をクリックすると GIMP が起動します。（起動するのに少々時間がかかりますが、気長に待ちましょう！）

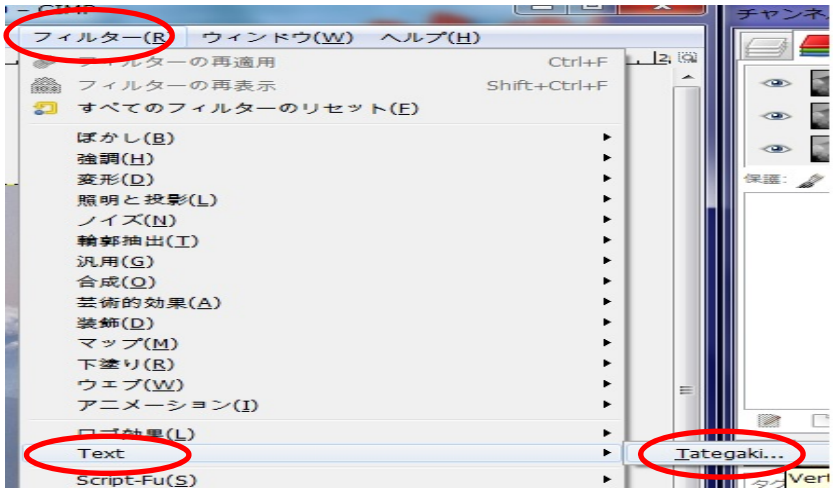
2. 画像を取り込む

GIMP の縦書き用ソフトは画像が入っていないと機能しないので、最初に画像を取り込みます。

ファイル[ﾒﾆｭｰ]⇒開く/インポートで適宜画像を指定し、「開く」ボタンをクリックする。

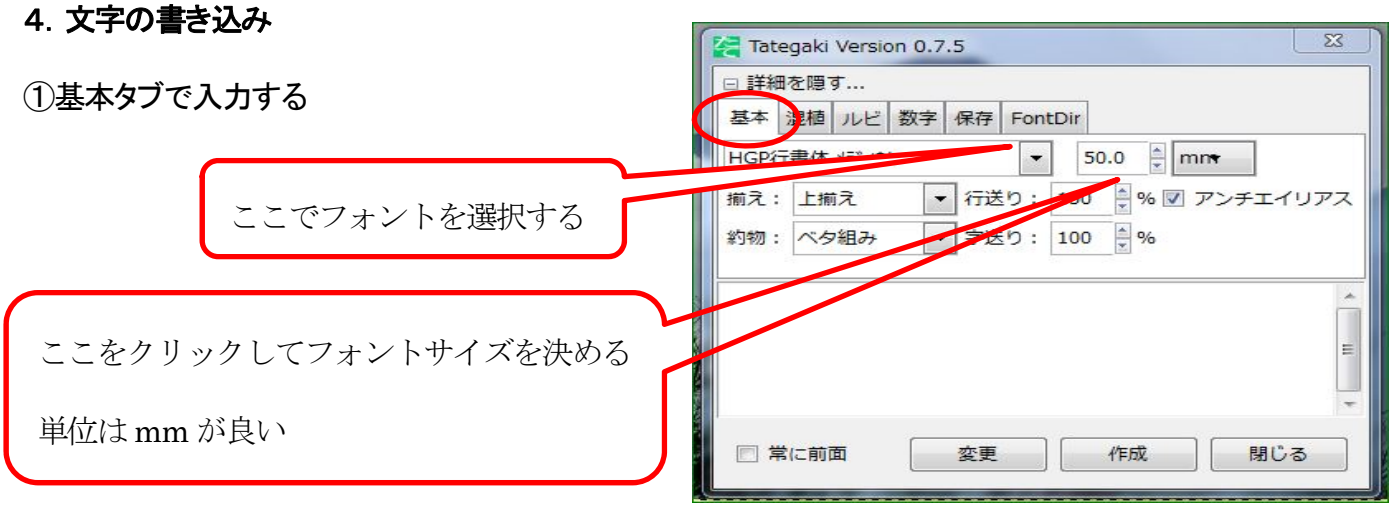
3.縦書ソフトの起動

GIMP の描画ウインドウに画像を入れた後、フィルター[ﾒﾆｭｰ]⇒Text⇒Tategaki で「Tategaki」ウインドウを開きます。

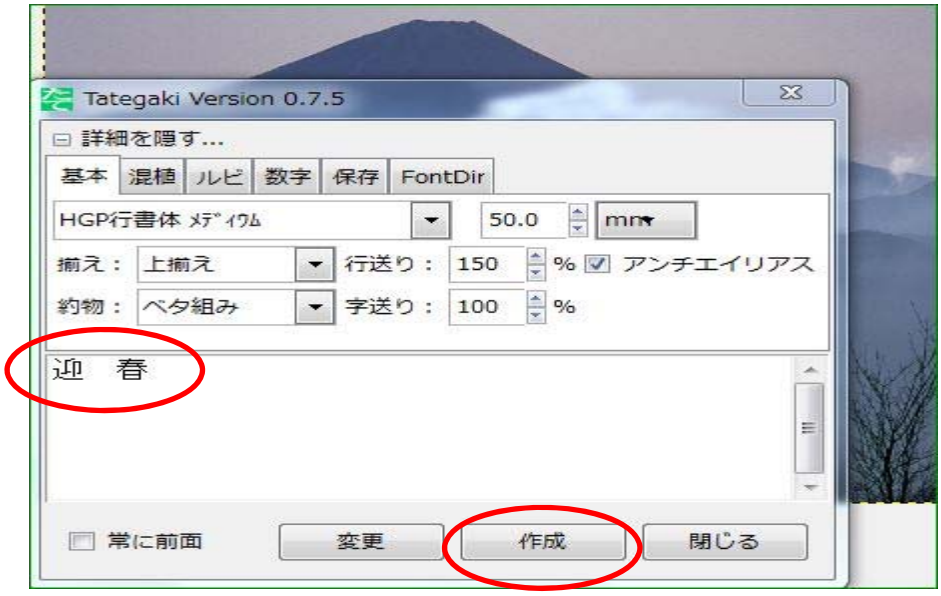


4. 文字の書き込み

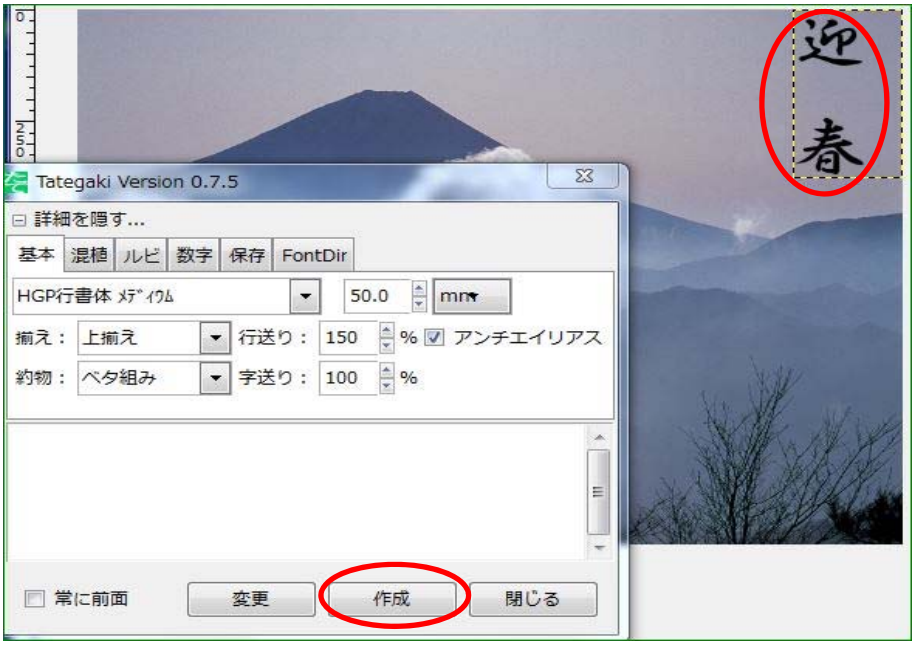
①基本タブで入力する



②ウインド内のカーソルを確認した後、文字を入力する。日本語の場合はﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟの左上に候補文字が出るので、適宜漢字などに変換した後、Enter キーを押すと Tategaki ウインドウに文字が表示される。



（ここで、文字色、フォントの種類、フォントサイズが変更できるが、後でも変更は可能である）



③作成ボタンをクリックすると画像上に文字が表示される。
この場合、デフォルトでは文字が右上に表示される。

5. 文言、文字の大きさおよび文字色の変更

文言、文字の大きさ及び文字の色を変更する場合は、縦書ソフトを起動後、変更ボタンをクリックすると入力した文字列が薄紫色の背景に表示され、変更が可能となる。

この時、変更したい文字レイヤーが選択されていないとできない。

① 文言の変更は、変更ボタンをクリックし、ウインド内薄紫色の背景部分をクリックしてカーソルを点滅させた後、適宜文言の変更を行う。

② 文字の大きさを変える場合は、変更ボタンをクリック後、フォントの数字を変える。変更後「適用」ボタンをクリックする。　　**注: 文字の大きさの変更は「拡大・縮小」ツールを使用してもできる。**

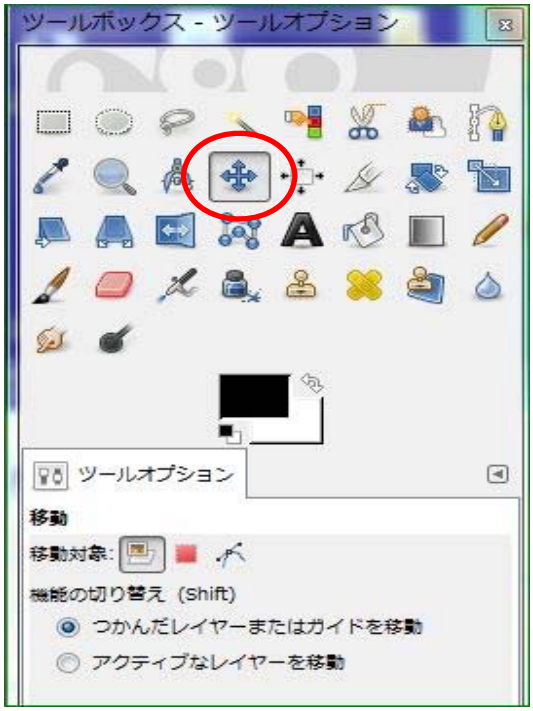
③文字の色を変える場合は、変更ボタンをクリック後、ツールボックスにある「描画色と背景色」ボタンで好みの色を選択後、「適用」ボタンをクリックする。なお、

これらの①～③は4. ②で縦書きウインドーに文字が入った時点で変えることもできる。

6. 文字の移動

文字の移動はツールボックスの「移動ツール」を使用する。

「移動ツール」を選択後、文字の上にカーソルを移動させ、ドラッグして適当な場所に移動させる。



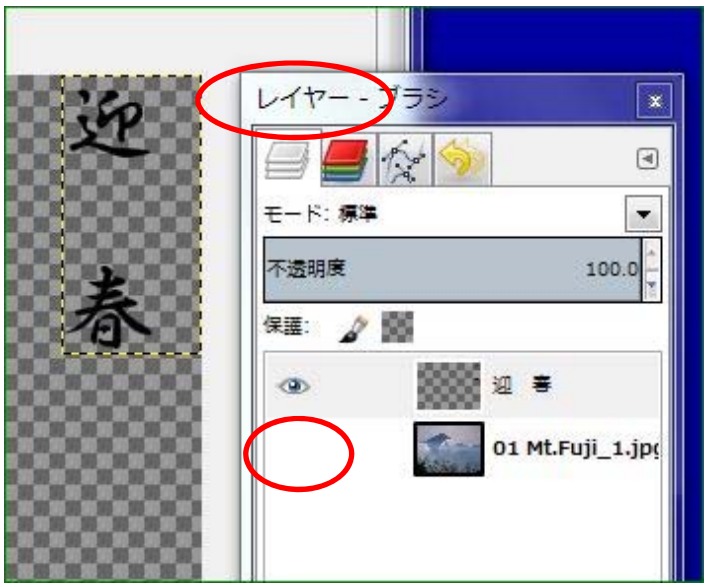
[注 意]

この時、文字レイヤーが選択されていること、マウスポインタをテキストボックス内の**文字の上**に移動させ、**指マークが消えた時**に移動が可能となる。

[参 考]

文字をドラッグして移動させようとした時に、背景の方が移動する場合があります。

このようなときは、「レイヤー」ダイアログの「背景のレイヤー」にある目玉をクリックして、背景を非表示にして（背景を見えなくする）からドラッグすると、文字だけの移動が可能となります。



応用編

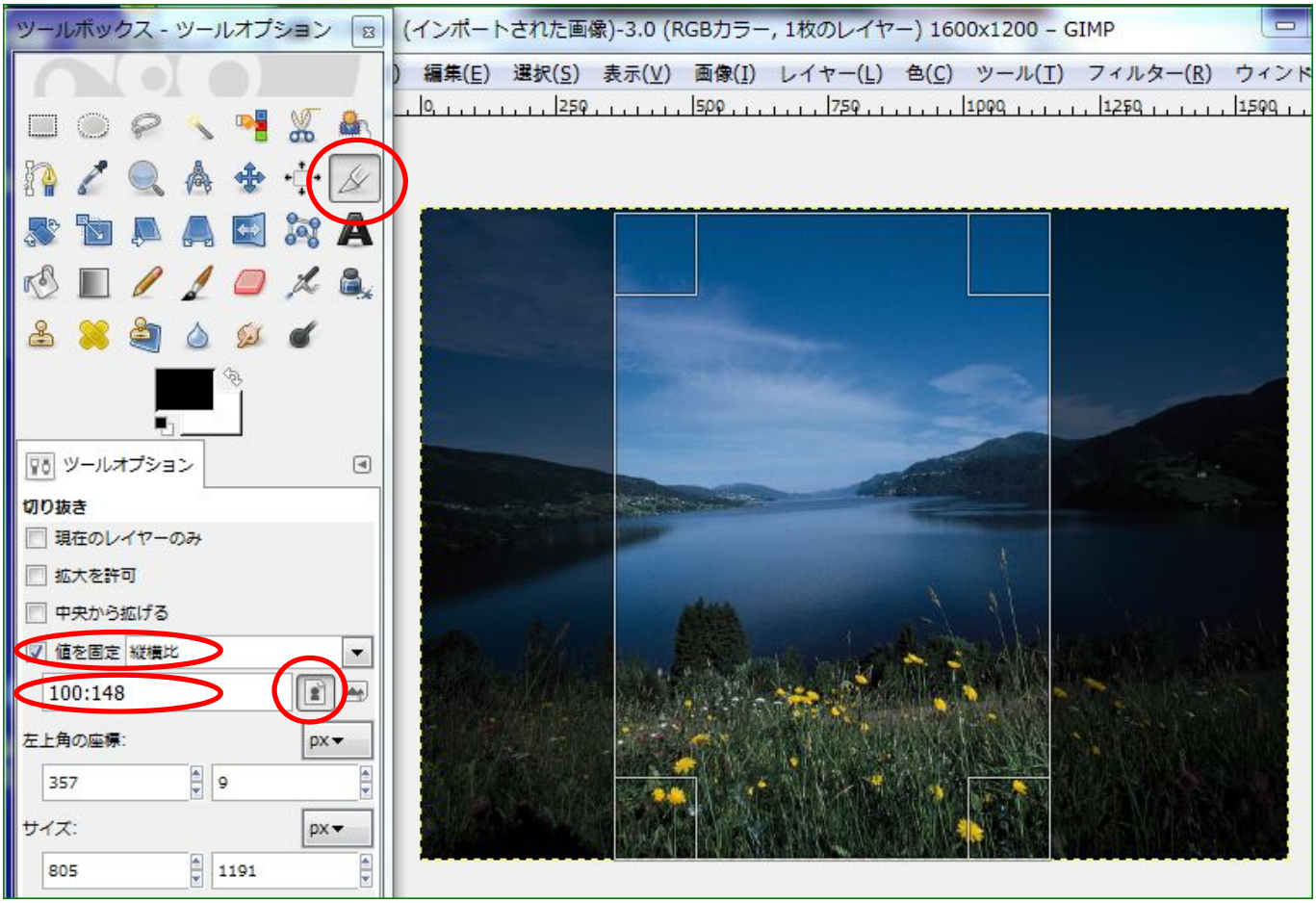
今までは縦書き文字の作成の基本ですが、ここからは実用的な例として、暑中見舞い用（チョット早いですが・・・・）にはがきの縦様式に縦書きの文字を入れる練習をします。

1．**はがきサイズと同じ比率の画像を作成する。**

① ファイル[メニュー]⇒開く/インポートで適宜画像を指定し、「開く」ボタンをクリックする。

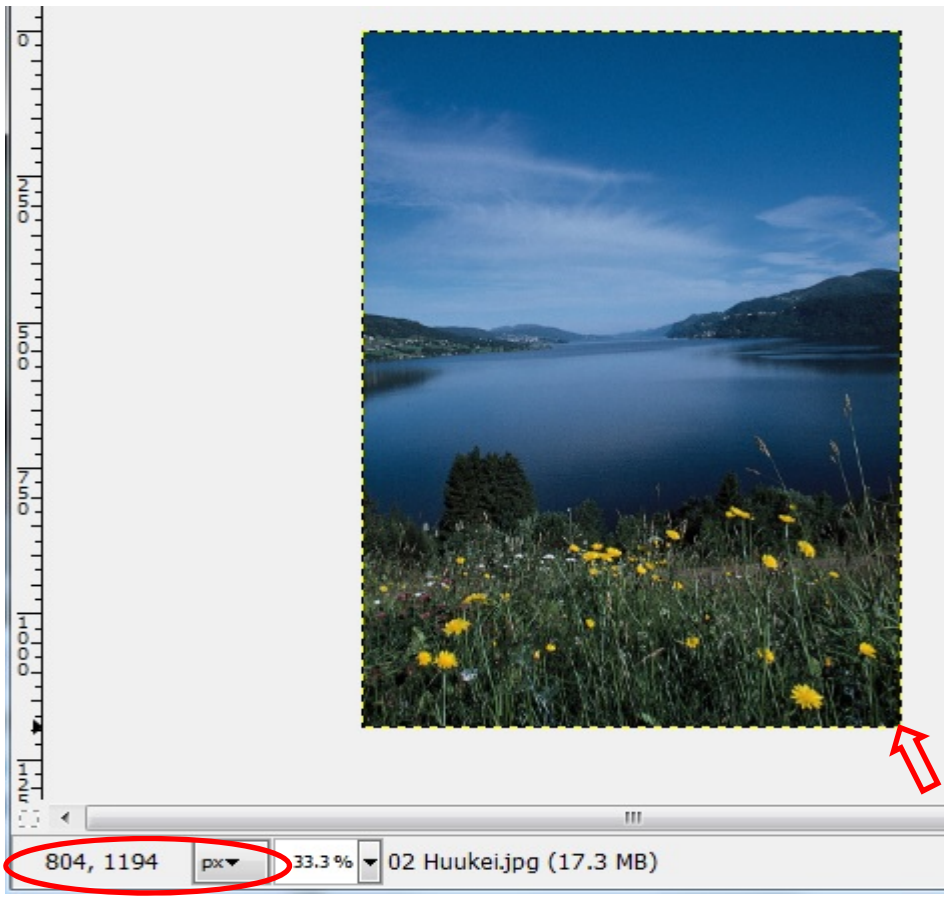
② はがきサイズ比率に合わせるため、[切り抜き]ツールをクリックし、ツールオプションの枠内の縦横比を固定にチェックを入れ、その下の窓に148：100と入力する。はがき縦なので、右側の絵の人の形の絵をクリックする。範囲をドラッグし、はがきにする画像の範囲を選択する。

択範囲内にマウスポインタを置き、適当な位置にドラッグして、トリミングの位置を決める。



[参　考]トリミングの方法は、講座「GIMP によるトリミングと明るさの調整」の中の「5．範囲を決めてトリミング」「B.用紙サイズ比を指定してトリミング」を参照してください。

ダブルクリックではがきサイズ比率の画像ができる。



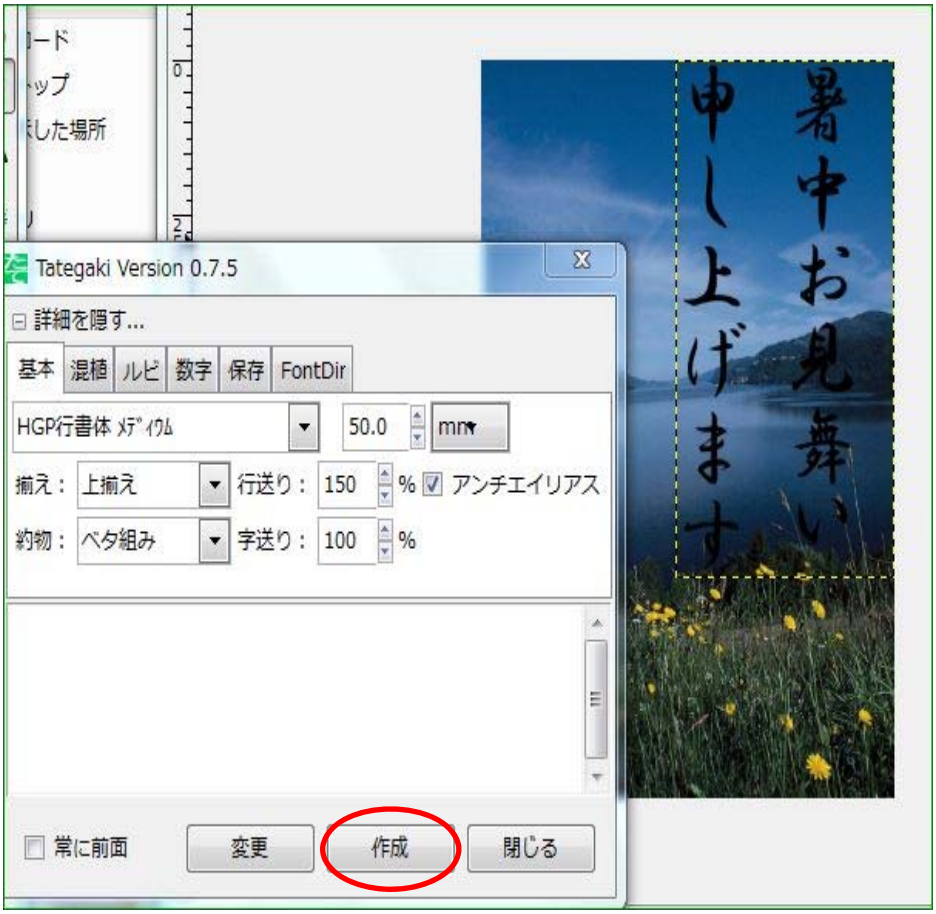
画面右下角にマウスポインタを移動させると、ステータスバーにその場所の大きさが表示される。

この場合、804＊1194px で、比率は 1.485。

ほぼ、はがきサイズ比率の大きさになっている。

[注]この PX 値は画像の大きさによって変わるが、比率はほぼ同じとなる。

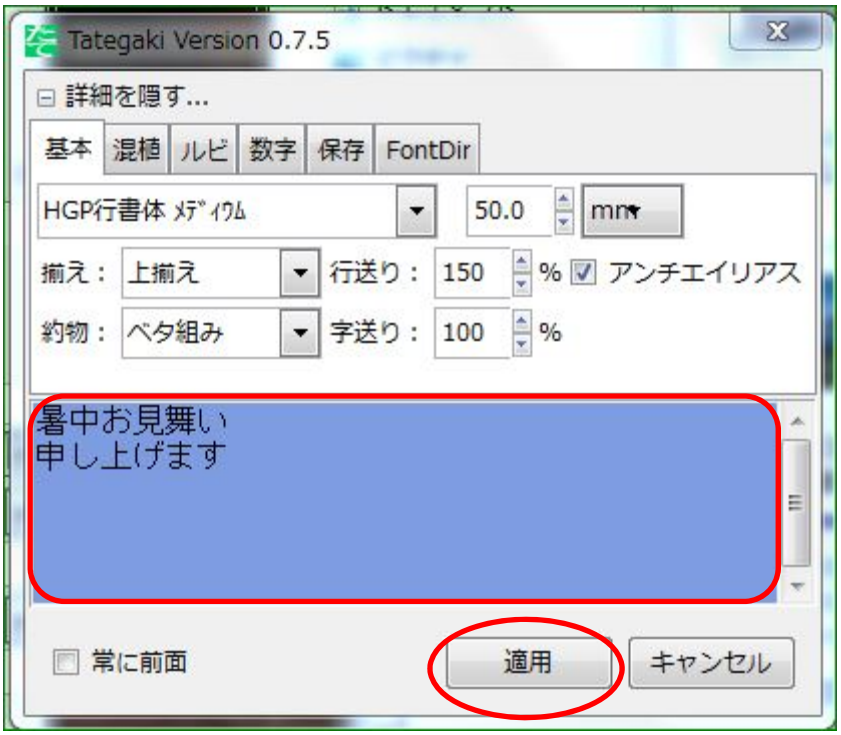
2. 文字の書き込み



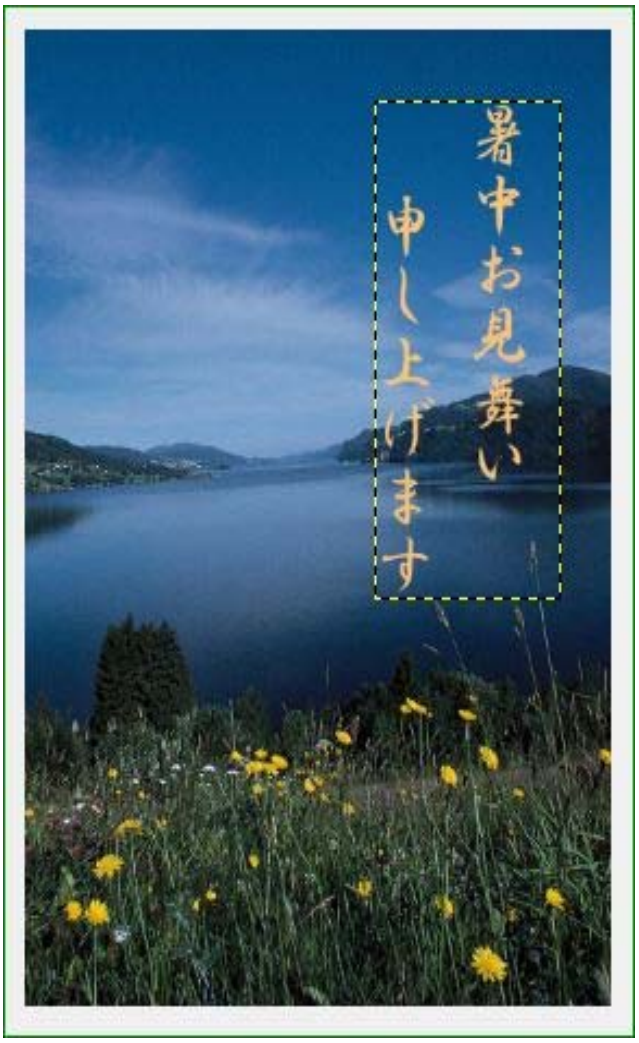
① フィルター[ﾒﾆｭｰ]⇒Text⇒Tategaki で「縦書」ソフトを起動し、開いた「Tategaki」ウインドウに、文字を記入する。作成ボタンをクリックすると画面右上端に文字がでる。

3. 文字の修正

①文字の大きさの修正及び文字色の変更



文字が大きすぎる、または小さすぎる場合は変更ボタンをクリックすると、入力文字列が、薄紫背景に表示され変更が可能となる。ここでフォントサイズを変えるか、「拡大・縮小」ツールで適当な大きさにする。（フォントサイズでmm単位の場合は、8mmが最少なので、それ以下の場合はピクセルを使用する）



「拡大・縮小」ツールを使う場合、大きな文字を縮小するのは問題ないが、小さい文字を拡大すると、文字がにじむのでフォントサイズの変更で行った方が良い。文字色の変更はこの状態で、ツールボックスの「背景色の変更」ツールを使用して、好みの色を選択し、文字色を変更する。文字の修正及び文字色の変更が終わったら「適用」ボタンをクリックする。

②. 文字位置の修正は「移動ツール」を使用する。この時、3 ページ③の注意事項を参照

左図：文字の大きさ、色、位置を変更した図

文字の大きさ、位置を修整後、自分の住所、氏名を

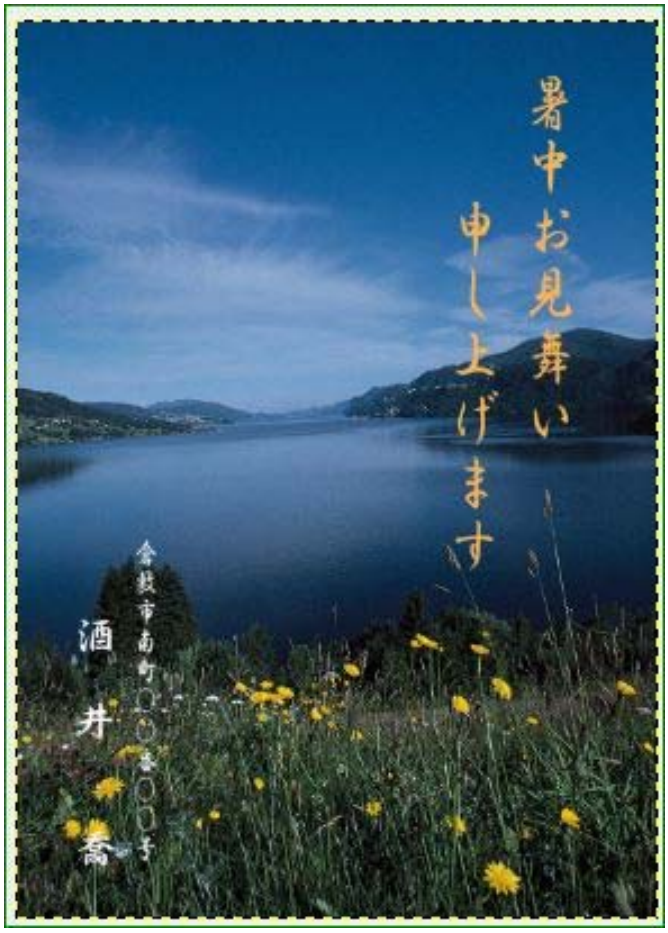
入れる。

住所と名前は、別々に「縦書きウインドウ」を起動させて書く。

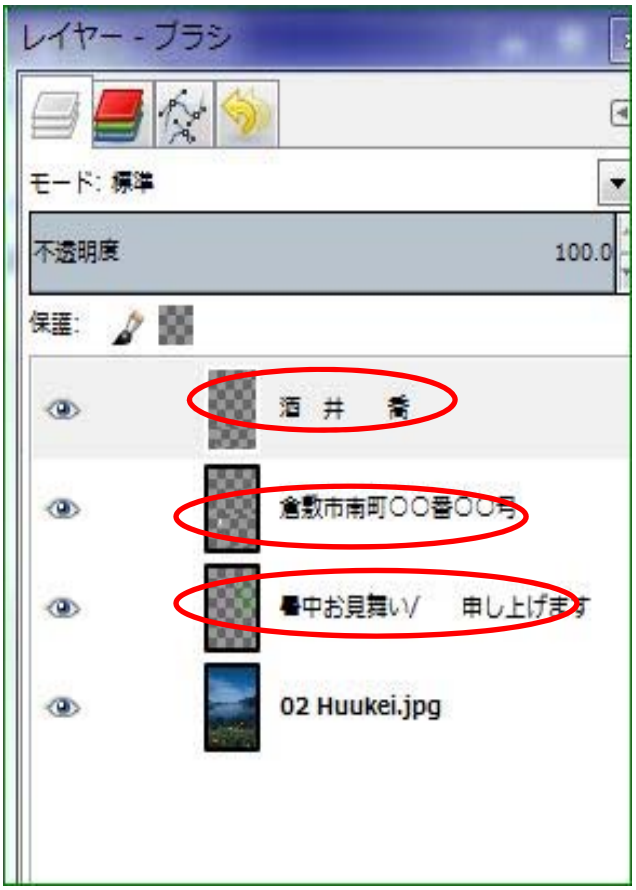
この時のレイヤーダイアログには「暑中見舞いの文句」「住所」「名前」の3つのレイヤーがあることが分かる。

[注　意]　文字の修正、位置変更などは、該当する文字のレイヤーを選択しないとできない。

完成図



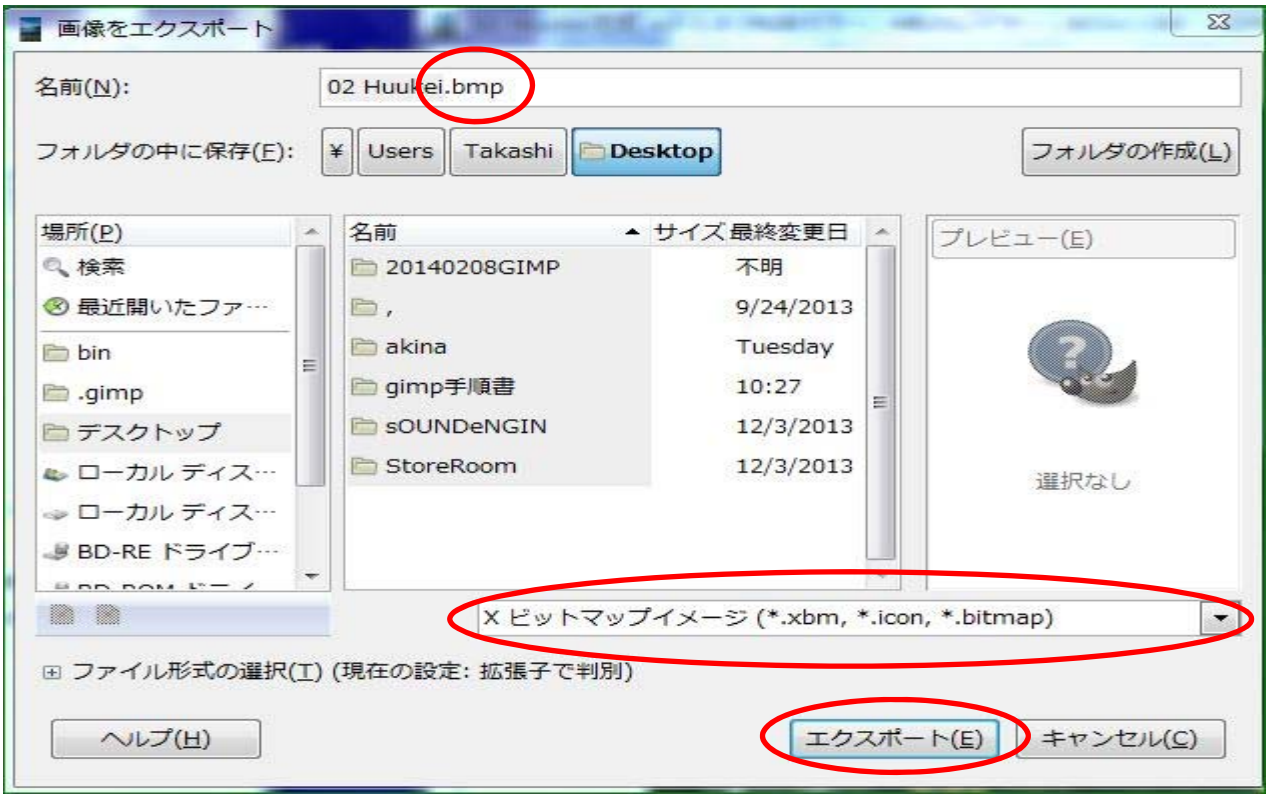
その時のレイヤーダイアログ



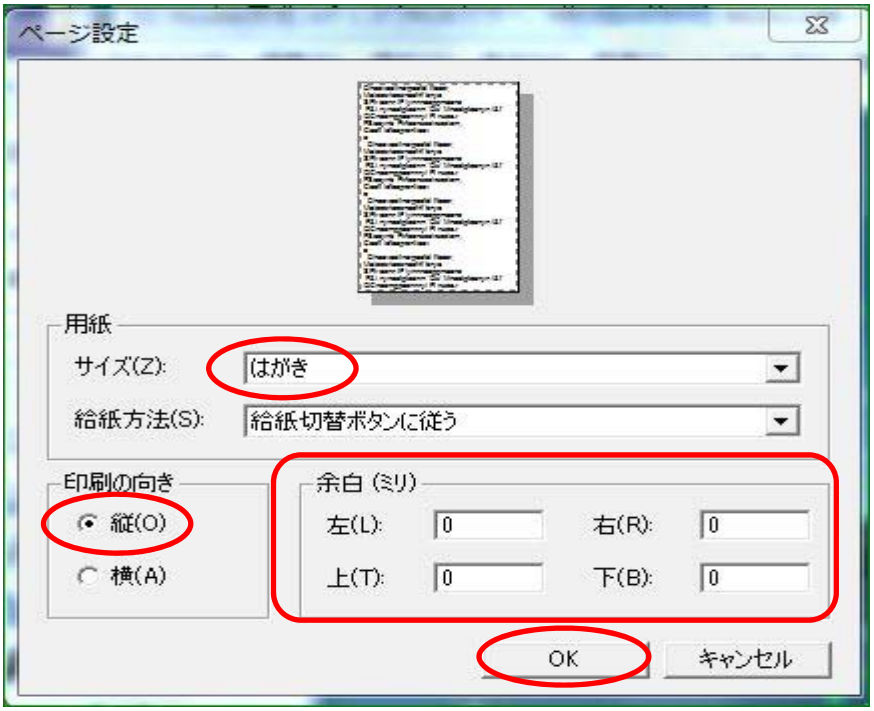
4. 画像の保存

できあがった画像は、ﾌｧｲﾙ[ﾒﾆｭｰ]⇒エクスポートで保存します。この時、ビットマップ方式で保存した方が、画像ににじみがなく、きれいに印刷できるそうです。

ファイル[ﾒﾆｭｰ]⇒エクスポートで「画像をエクスポート」ウインドウが開くので、名前の後ろにビットマップの拡張子である「.bmp」(半角英数)を付け、右下の画像の方式を選択する場所の▼をクリックして「X ﾋﾞｯﾄﾏｯﾌﾟｲﾒｰｼﾞ(*xbm,・・・・)」を選択し「エクスポート」ボタンをクリックする。



5. 印刷

①エクスポートした画像から印刷する場合は、用紙指定を「はがき」にすること。

②GIMPの画面からそのまま印刷する場合はファイル[ﾒﾆｭｰ]⇒Page Setup をクリックし、「ページ設定」ウインドウで「用紙のサイズ、印刷の向き、余白」の設定を行い「OK」をクリックした後、ファイル[ﾒﾆｭｰ]⇒印刷で印刷を行う。